

松江市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観 ④

松江大橋
松江市景観計画に指定する展望地

松江開府400年。この間ずっと人々の営みと大橋川を見つめてきた松江大橋は、現在の橋で17代を数える「水の都松江」のシンボルです。源助の悲話も、小泉八雲を迎えたカラコロという下駄の音も、松江大橋にまつわるエピソード

ドとして松江人の郷愁を誘います。大橋の張り出しから南東を望めば晴れの日の出雲富士(大山)、北西には松江城を望むことができます。また、朝霞に浮かぶしじみ船との情景や、ライトアップされ川面に浮かびあがる姿は、ゆかしい松江の景観を身近に感じることができます。橋の上で佇みながら400年の時の流れに思いをはせてみられてはいかがでしょうか。



松江市は、景観計画で市内23カ所を展望地に指定し、建築・建設行為等に対して、そこからの眺望に配慮するよう指導・誘導を行っています。
【問い合わせ】都市景観課 TEL:55-5387 FAX:55-5552 E-mail:keikan@city.matsue.lg.jp